

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2024年 7月 25日

(宛先)
滋賀県知事

提出者

住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)

〒480-0303 愛知県 春日井市 明知町

西之洞 1189-11

氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名)

株式会社ファインシンター

代表取締役社長 山口 登士也

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項 → 第25条第4項

第27条第1項 → 第27条第2項において準用する同条例

第26条第1項

第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項 の規定に基づき、事業者行動計画を 策定 (変更) 事業者行動報告書を作成 したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)	株式会社ファインシンター 代表取締役社長 山口 登士也
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	〒480-0303 愛知県 春日井市 明知町 西之洞 1189-11

1 事業所の概要

事業所の名称	株式会社ファインシンター 滋賀工場					
事業所の所在地	〒529-1204 滋賀県 愛知郡 愛荘町 蚊野外 10-2					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	3	1	1	3	※ 産業分類・細分類名称を記載 自動車部分品・附属品製造業
事業の概要	粉末冶金(焼結合金)によるエンジン部品や摩擦摺動部品の生産					
従業員の数	300	人	作業時間	24	時間/日	
該当する事業者 の要件	☒ 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500kgリットル以上の事業所を県内に有する事業者					
	☐ 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	☐ 任意提出事業者					
主要な設備	ボイラ	4	台	熱源設備	64	台
	コンプレッサ	15	台	空気調和設備	約100	台
				照明設備	約1000	台
				その他	約1000	台

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始 年度	2022	年度	報告対象年度	2023	年度
	終了 年度	2026	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の (内容・実施状況)	別添のとおり
------------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

工場の屋根に太陽光パネルを設けて、再生可能エネルギー活用でCO₂ネットゼロに少しでも寄与できないか検討しています。

2 取組の推進体制

愛知県の本社において社長が統括責任者で、エネルギー管理士が全社の取りまとめています。京都府の山科工場、滋賀県の滋賀工場、愛知県の本社と春日井工場、埼玉県の新越工場それぞれにエネルギー管理士や管理員がおり工場単体のエネルギー実績集計を行っていて、経済産業省へは全社実績を本社で取りまとめて報告し、各府県への報告は工場ごとの担当者が行っています。

統括責任者のもと環境事務局が各工場をまとめ、月に一度の環境省エネ委員会を実施しています。委員会場で各工場ごとのCO₂排出量や省エネ計画の進捗状況をフォローし会社全体での情報共有を行っております。

3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

エアコン設定の適正化や不要な照明の消灯に始まり、加熱設備の負荷の寄せ止めなどの省エネの努力、改善は現在進行形で進めてはいるものの、CO₂ネットゼロには遠くおよびません。

加熱設備のバーナーでプロパンガスを1kg燃やすと、3kgものCO₂が発生してしまうので、水素バーナー

に転換できないか検討中です。

水素ガスの価格は1880円/kg+基本料金120万円/月(岩谷産業)

プロパンガス価格は100円/kg(上原成商事)

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	運用改善	EF-M24-S54焼結炉寄せ止め(全停止) 60千kWh/月	R5 4月より	実施中
2	運用改善	FY-M8-S1小型焼結炉寄せ止め(半分/月、停止) 2.6千kWh/月	R5 4月より	実施中
3	運用改善	アンモニア分解炉1基寄せ止め(全停止) 17.3kWh/月	R5 4月より	実施中
4	運用改善	コンプレッサーエアーループ切り離し、圧力設定最適化 12.9千kWh/月	R5 9月より	設備レイアウト変更が進まず未着手
5	運用改善	焼結用の窒素ガス、休日(保温800℃)流量低減、 55ton/月	R6 4月より	実施中

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
弊社は「2013年度比CO₂排出量38%削減」を目標に掲げています。 電力使用におけるCO₂排出量は換算係数が年度ごとに0.299～0.514kg/kWhと大幅に変動してしまうので自社の進捗を捉えにくい面があります。 各種エネルギー使用量を熱エネルギーに換算して単位を揃えて足し合わせ、原油換算するエネルギー使用量は年度ごとに変わらない係数を使用していますので省エネの良い尺度と考えています。 2024年2月より1年掛けて深冷分離方式の窒素ガス発生装置出力300kWを更新中です。 期間中はタンクローリー買いで工場全体の電力が表面上10%減とな	2021→2022→2023年度は 6903→6323→5703kLと原油換算エネルギー使用量は右肩下がり。 工場生産金額は 6799→6326→6526百万円 で、やや右肩下がり。 エネルギー原単位は 1.02→1.00→0.87で昨年度が異様に良い結果ですが大型の電力消費源が停止していることに起因しています。

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

		計画開始年度前年度の実績	実績報告				
			2022年度	2023年度	()年度	()年度	()年度
原油換算エネルギー使用量	kL	6,903	6,323	5,703			
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	10,696	8,419	8,768			
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	10,696	8,419	8,768			
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂						
CH ₄	t-CO ₂						
N ₂ O	t-CO ₂						
HFCs	t-CO ₂						
PFCs	t-CO ₂						
SF ₆	t-CO ₂						
NF ₃	t-CO ₂						
エネルギー等原単位の推移		1.020	1.000	1.000			

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1			
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ()	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
再エネ電気設備での発電量	kWh						
上記のうち自家消費量	kWh						